

共催プログラム

第1日 11月7日(木) ランチョンセミナー

12:20～13:20

<ランチョンセミナー1> 第1会場「コンベンションホールB」 共催：CSL ベーリング(株)

「最新 CIDP 診療ガイドラインはこう読み解く！ ～明日から臨床現場にどう活かすか？～」

座長：三澤 園子(千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学)

(1) 事例で考える CIDP の診断プラクティスのポイント

小池 春樹(佐賀大学医学部内科学講座脳神経内科)

(2) CIDP 治療アプローチと今後の課題

国分 則人(獨協医科大学脳神経内科)

<ランチョンセミナー2> 第2会場「国際会議室」

共催：大塚製薬(株)

メディカル・アフェアーズ部

「アルツハイマー型認知症の診断と治療～BPSDを含めた包括的対応～」

座長：富本 秀和(三重大学大学院医学系研究科/済生会明和病院)

演者：小野賢二郎(金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経内科学)

<ランチョンセミナー3> 第3会場「201」

共催：田辺三菱製薬(株)

「NMOSD ガイドライン活用のコツ～イネビリズムマブの役割～」

座長：森 雅裕(千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学)

演者：宮崎 雄生(国立病院機構北海道医療センター脳神経内科・臨床研究部)

<ランチョンセミナー4> 第4会場「301」

共催：バイオジェン・ジャパン(株)

「多発性硬化症の早期診断の要点と鑑別診断(NMOSD, MOGADを含めて)」

座長：竹内 英之(国際医療福祉大学大学院医学研究科脳神経内科学, 国際医療福祉大学熱海病院神経難病・認知症センター, 横浜市立大学医学部神経内科学・脳卒中医学)

演者：藤原 一男(福島県立医科大学医学部多発性硬化症治療学講座)

<ランチョンセミナー5> 第5会場「302」

共催：エーザイ(株)

「患者さんの価値観に寄り添ったパーキンソン病治療」

座長：高橋 一司(東京都立神経病院脳神経内科)

演者：西川 典子(順天堂大学医学部神経学講座)

<ランチョンセミナー6> 第6会場「303」

共催：(一社)日本血液製剤機構

「重症筋無力症治療の現状と今後の方向性」

座長：鈴木 重明(慶應義塾大学医学部神経内科)

演者：長根百合子(総合花巻病院脳神経内科)

<ランチョンセミナー 7> 第7会場「304」

共催：中外製薬（株）

「NMOSD 診療の新潮流」

座長：吉倉 延亮（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野）

王子 聡（埼玉医科大学総合医療センター脳神経内科）

(1) 抗体製剤で大きく変革した NMOSD 診療と治療の実践

眞崎 勝久（九州大学病院脳神経内科）

(2) NMOSD 診療の新時代 ～そしてその先へ～

櫻井 謙三（聖マリアンナ医科大学病院脳神経内科）

<ランチョンセミナー 8> 第8会場「103」

共催：ダイドーファーマ（株）

「ランバート・イートン筋無力症候群（LEMS） これからの治療戦略」

座長：松尾 秀徳（国立病院機構長崎病院脳神経内科）

(1) ランバート・イートン筋無力症候群 診断への過程 ～臨床医の経験から～

北川 尚之（天沼きたがわ内科）

(2) ランバート・イートン筋無力症候群 これからの治療戦略 ～複数症例の経験より～

畑中 裕己（帝京大学脳神経内科）

<イブニングセミナー1> 第2会場「国際会議室」

共催：アレクシオンファーマ（同）
メディカルアフェアーズ本部

「重症筋無力症が患者の社会生活に及ぼす影響と就労支援」

座長：村井 弘之（国際医療福祉大学医学部脳神経内科学）

- (1) MG 症状が生活に与える影響と治療の選択
川口 直樹（医療法人同和会神経研究所）
- (2) 神経難病の患者さんが治療と仕事を両立するために
近藤 明美（近藤社会保険労務士事務所）

<イブニングセミナー2> 第3会場「201」

共催：武田薬品工業（株）

「人生100年時代におけるパーキンソン病マネジメント」

座長：長谷川隆文（国立病院機構仙台西多賀病院臨床研究部／脳神経内科）

演者：藤岡 伸助（国際医療福祉大学医学部脳神経内科）

<イブニングセミナー3> 第5会場「302」

共催：PDRファーマ（株）

後援：日本脳神経核医学研究会／日本核医学会

「アルツハイマー病とパーキンソン病における脳神経内科医による核医学検査結果の解釈」

座長：勝野 雅央（名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学）

演者：平野 成樹（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）

<イブニングセミナー4> 第6会場「303」

共催：興和（株）

「血管病の観点からの認知症」

座長：小野賢二郎（金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経内科学）

- (1) 脳血管と認知症～地域コホート研究から～
篠原もえ子（金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経内科学）
- (2) 脳血管と認知症～ヒトは血管と共に老いるという視点～
猪原 匡史（国立循環器病研究センター脳神経内科）

<モーニングセミナー1> 第4会場「301」

共催：日本イーライリリー（株）

研究開発・メディカルアフェアーズ統括本部

「抗アミロイド療法の臨床的価値と Shared Decision Making」

座長：和田 健二（川崎医科大学認知症学）

演者：井原 涼子（東京都健康長寿医療センター脳神経内科）

- <ランチョンセミナー 9> 第1会場「コンベンションホール B」 共催：エーザイ(株) /
 バイオジェン・ジャパン(株)
 「抗Aβ抗体レケンビがもたらす治療価値 ～ADLやQOLに注目して～」
 座長：下畑 享良(岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野)
 演者：古和 久朋(神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域)
- <ランチョンセミナー 10> 第2会場「国際会議室」 共催：小野薬品工業(株)
 「パーキンソン病の個別化医療に向けたサブタイプの捉え方とL-ドパ治療の最適化」
 座長：市川 忠(埼玉県総合リハビリテーションセンター)
 演者：馬場 徹(国立病院機構仙台西多賀病院脳神経内科/パーキンソン病センター)
- <ランチョンセミナー 11> 第3会場「201」 共催：アレクシオンファーマ(同)
 「NMOSDにおける補体治療戦略 ～ダブルゼロ(再発ゼロ, ステロイドゼロ)をTreat to Targetに～」
 座長：千原 典夫(神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学)
 演者：竹内 英之(国際医療福祉大学大学院医学研究科脳神経内科学, 国際医療福祉大学熱海病院神経難病・
 認知症センター, 横浜市立大学医学部神経内科学・脳卒中医学)
- <ランチョンセミナー 12> 第4会場「301」 共催：アッヴィ(同)
 「神経心理検査から垣間見る Parkinson 病の病態」
 座長：小野賢二郎(金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経内科学)
 演者：村上 秀友(昭和大学医学部内科学講座脳神経内科学部門)
- <ランチョンセミナー 13> 第5会場「302」 共催：武田薬品工業(株)
 「Current epidemiology and pathophysiology of immune-mediated neuropathies
 ー免疫介在性神経障害における最新の疫学・病態生理ー」
 座長：横田 隆徳(東京科学大学脳神経病態学分野(脳神経内科))
 (1) GBSとCOVID-19
 水地 智基(千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学)
 (2) GBSの病態生理について
 国分 則人(獨協医科大学脳神経内科)
- <ランチョンセミナー 14> 第6会場「303」 共催：第一三共(株)
 「化学療法誘発性ニューロパチー：RWDも交えて徹底解説！」
 座長：磯部 紀子(九州大学大学院医学研究院神経内科学)
 演者：三澤 園子(千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学)

<ランチョンセミナー 15 > 第7会場「304」

共催：ノーベルファーマ（株）

「遠位型ミオパチーの診療と新たな治療戦略」

座長：青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科学分野）

- (1) GNE ミオパチーの最新知見：進行パターンと全身症状，次世代治療戦略
吉岡和香子（国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部）
- (2) 遠位型ミオパチー治療の新時代：アセノイラミン酸製剤への期待と今後の展望
鈴木 直輝（東北大学大学院医学系研究科臨床障害学分野）

<ランチョンセミナー 16 > 第8会場「103」

共催：ヤンセンファーマ（株）

メディカルアフェアーズ本部

「gMG 治療の変遷と今後の展望」

座長：村井 弘之（国際医療福祉大学医学部脳神経内科学）
演者：鶴沢 顕之（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）

<ランチョンセミナー 17 > 第9会場「104」

共催：協和キリン（株）

「パーキンソン病のトータルケア」

座長：渡辺 宏久（藤田医科大学医学部脳神経内科学）
演者：前田 哲也（岩手医科大学医学部内科学講座脳神経内科・老年科分野）

<モーニングセミナー2> 第4会場「301」

共催：日本メジフィジックス(株)

後援：日本脳神経核医学研究会／日本核医学会

「MCIのSPECT, アミロイドPET画像の特徴と抗A β 治療薬の診療におけるSPECT, アミロイドPET検査の現状について」

座長：小野賢二郎(金沢大学医薬保健研究域脳神経内科学)

演者：武地 一(藤田医科大学医学部認知症・高齢診療科)

＜ランチョンセミナー 18＞ 第1会場「コンベンションホール B」 共催：ユーシービージャパン（株）

「重症筋無力症における新たな治療選択肢と治療戦略における多様性」

座長：高橋 正紀（大阪大学医学系研究科保健学専攻生体病態情報科学講座臨床神経生理学）

- (1) これからの EFT/FT：標準的治療の重要性と新規治療ニーズ
杉本 太路（広島大学病院脳神経内科）
- (2) MG アルゴリズムにおける分子標的薬の考察 — 戦略的位置づけと最新動向 —
鶴沢 顕之（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）

＜ランチョンセミナー 19＞ 第2会場「国際会議室」 共催：小野薬品工業（株）

「パーキンソン病治療における非運動症状へのアプローチ」

座長：下畑 享良（岐阜大学）

演者：波田野 琢（順天堂大学医学部神経学講座）

＜ランチョンセミナー 20＞ 第3会場「201」 共催：アレクシオンファーマ（同）

「患者さんのベネフィットから考える MG 治療～波のない日常を目指して～」

座長：鈴木 重明（慶應義塾大学医学部神経内科）

- (1) MG 患者さんの想いを再考する —そして治療戦略へ—
水野 昌宣（宇都宮病院脳神経内科／岩手医科大学脳神経内科・老年科）
- (2) gMG 診療 困った時の抗補体薬
濱田 征宏（和泉市立総合医療センター脳神経内科）

＜ランチョンセミナー 21＞ 第4会場「301」 共催：田辺三菱製薬（株）

「ALS の早期診断・早期治療の重要性」

座長：青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経内科学）

演者：山下 徹（岡山大学学術研究院医歯薬学域脳神経内科）

＜ランチョンセミナー 22＞ 第5会場「302」 共催：藤本製薬（株）

「POEMS 症候群における診断と治療のポイント」

座長：桑原 聡（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）

演者：水地 智基（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）

＜ランチョンセミナー 23＞ 第6会場「303」 共催：アルジェニクスジャパン（株）

「gMG における新たな治療オプションと治療戦略のアップデート」

座長：檜沢 公明（総合花巻病院）

- (1) 九州大学病院でのヒフデュラ[®]の使用経験
渡邊 充（九州大学病院脳神経内科）
- (2) gMG 治療における課題克服に向けて～ヒフデュラ[®]の位置づけと可能性～
富沢 雄二（順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科）

<ランチョンセミナー 24 > 第7会場「304」 共催：旭化成メディカル（株）

「多発性硬化症（MS）・視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）治療での血液浄化療法の未来」

座長：藤原 一男（福島県立医科大学多発性硬化症治療学講座）

- (1) エビデンスが示す多発性硬化症における血液浄化療法の有用性：治療標的と作用機序について
林 幼偉（国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科診療部）
- (2) MS・NMOSD 診療ガイドライン 2023 から考える血漿浄化療法
新野 正明（国立病院機構北海道医療センター臨床研究部）

<ランチョンセミナー 25 > 第8会場「103」 共催：日本イーライリリー（株）

「これから求められる認知症診療」

座長：岩田 淳（東京都健康長寿医療センター）

演者：古和 久朋（神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域）

<ランチョンセミナー 26 > 第9会場「104」 共催：Alnylam Japan（株）

「ATTRv アミロイドーシス治療の最前線 ～ siRNA による臨床への影響を振り返る～」

座長：小野賢二郎（金沢大学医薬保健研究域脳神経内科学）

演者：関島 良樹（信州大学医学部脳神経内科，リウマチ・膠原病内科）